

国語科学習指導案

日 時 10月18日 第5校時
展開学級・場所 3年 C組
指 導 者 室 田 ゆ う こ

1 単元名 話し合って考えを深めよう (パネル・ディスカッション)

2 単元の目標

学習指導要領より

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。 (1目標(1))
- (2) 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。 (2内容 A(1)ア)
- (3) 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。 (2年 A(2)ア)
- (4) 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。 (2年 A(2)イ)
- (5) 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりすること。 (3年 A(2)ア)
- (6) 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。 (3年 A(2)イ)

● これらの目標を今回の単元に置き換え、以下のように設定する。

- (1) 社会生活の中の話題についてグループで調べたり意見をまとめたりしたことを全体で伝え合い、課題の解決に向けて話し合う力を高め、自分の考えを深めようとする。 【関心・意欲・態度】
- (2) グループで調べたり話し合ったりしたことを整理して、視聴覚機器や資料を活用しながら分かりやすく説明している。 【話すこと】
- (3) 説明や提案を聞いて自分の考えを深めたり、発表の工夫を評価したりするとともに、互いの考えを生かして意見交換や質問をすることができる。 【聞くこと】
- (4) 相手や目的に応じた伝え方の違いを理解し、相手に自分の考えが伝わるように、適切な語句を選択して表現を工夫したり、発表者の工夫を自分の表現に生かしたりすることができる。 【言語事項】

3 単元について

① 言語活動

- ・ プレゼンテーションやパネル・ディスカッションで、聞き手に分かりやすく説明したり説得力のある提案をしたりするには、何をどのように伝えるのが効果的かを話し合うこと。

② 単元について (授業者の意図 ～ 国語の学習として担うべきと考える課題 ～)

本単元では、社会生活の中の話題について資料を調べたり、自分で考えたりしたことをグループで話し合い、また他のグループの発表や提案を聞くことでさらに考えを深めていく言語活動を行う。

事前にとったアンケートの集計結果によると、「文章や相手の考えを理解することは得意である」とする生徒が多いものの、「自分の考えを相手に分かりやすく伝えることは苦手である」とする生徒が多い。その原因は、「① 自分が伝えたい内容が相手に届いているか」「② 自分の伝え方は相手にとって分かりやすいか」の2つに自信がもてないこと、「話す」「書く」といった表現活動で「相手に伝わった」という実感が十分に得られていないことが考えられる。これを踏まえて、本単元では相手に分かりやす

く伝えるためには、「何を」「どんな方法で」「どのように」伝えるかということに重点をおく。

③ 題材について

取り上げるテーマは、「エネルギー問題」である。エネルギーは社会生活の基盤であり、関心度が高い。生徒も日常生活で多くの情報に触れ、関心を持っている。その一方で、科学的・政治的な要素も含み、容易に答えの出ない問題である。したがって、さまざまな立場やメディアから毎日のように情報が発信されている。そのような点から、「エネルギー問題」は生徒の学習意欲を喚起し、また、論理的な思考力、情報を編集する力、伝え合う力を高めるというねらいを達成するための題材にふさわしい。

科学や政治の専門家ではない一般の生活者にとっては、細分化された視点でなく日常的に飛び込んでくるあらゆる情報を総合的にとらえ、お互いの考えや意見を聞きながら自分の考えを深め、自分の生活を設計していくことが、「生きる力」となる。「生きる力」を育てる過程で、国語科は「核」でなければならぬと考える。この言語活動を通して、社会生活に対するものの見方や考え方を深めさせたい。

4 評価規準

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	言語事項
<ul style="list-style-type: none"> ● 社会生活の中の話題について根拠を示しながら話し合い、課題の解決に向けて自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会生活の中の話題について情報を整理して自分の考えをまとめ、資料や電子黒板を活用して分かりやすく説明している。(ア) ● 発表や提案によって全体の考えがより深まるように、互いの考えを生かして意見交換や質問をしている。(エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手や目的に応じた伝え方の違いを理解し、自分の考えが伝わるように適切な語句を選択し、語彙を豊かにすること。(イ)

5 指導計画 (8時間扱い)

学習内容・活動	時間	教師の支援
<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギーの特徴から発電方法を推量する ○さまざまな発電の仕方について、理解する ○エネルギー問題を学ぶ意義を考える ○グループごとにどの発電方法を調べるかを決める 	1	<ul style="list-style-type: none"> ○黒板にシートを裏向きに貼る (表：発電方法、裏：特徴、B4 ラミネート) ○【基本資料】を配布、電子黒板で提示する
<ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーションについて解説したビデオを視聴し、目的や方法を理解する (25分) ○グループごとに情報交換し、【調査シート】に記入する <ul style="list-style-type: none"> ・長所・短所を予想する ・疑問や知っていることを伝え合う ・調べ方・役割分担 (司会、書記、発表者、提案者、電子黒板操作) 	2	<ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーション →発電の方法、長所・短所を説明する ○パネル・ディスカッション →どのようにエネルギーを利用すれば良いかを話し合う ○討論ではなく、考えを深めるための話し合いであることを確認する
<ul style="list-style-type: none"> ○図書資料など使って発電方法について調べ、【調査シート】に記入する ○他のグループの参考になりそうなことがあったら、伝え合う。 ○発表の内容や方法を相談して決める ○必要な根拠・データ・資料をそろえる 	3 4	<ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習の進捗を確認する ※遅いグループに【秘密のヒント】を渡す (例) 再生可能エネルギー法案、固定価格買取制度、洋上風力発電、宇宙太陽光発電
<ul style="list-style-type: none"> ○【発表シート】を作成する <ul style="list-style-type: none"> ① 発電方法の簡単な説明 ② 長所・短所 (中立の立場で) 		<ul style="list-style-type: none"> ○全員が意見を述べるように促す ○複数のアイデアが出たら、1つか2つに絞るように指示する
<ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーション (1～6班) ○【ワークシート①】にメモを取りながら聞き、各班の発表の後で質問をする ○パネル・ディスカッションについて解説した 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーションを通じてそれぞれの発電方法の長所や短所を理解し、パネル・ディスカッションにつなげていくことを確認する ○各班のプレゼンテーションの工夫を評価する

<p>ビデオを視聴、目的や方法を理解する(12分)</p> <p>○前時のプレゼンテーションを踏まえ、「10年後、安心して暮らすためには、どのような発電のしくみがよいか」を各グループで話し合い、【ワークシート①】に記入する</p> <p>○パネル・ディスカッションの役割分担(司会、書記、時計係、フロア)</p>	6	<p>○グループで調べたことやプレゼンテーションで学んだことを基にして、提案内容を考えるように指示する</p> <p>○自分たちのグループの発電方法にこだわらず、<u>全体に向けた提案</u>を考えさせる</p> <p>○パネル・ディスカッションの進行を確認する</p> <p>○司会、書記、時計係と打ち合わせをする</p> <p>○【ワークシート①】を回収し、授業後パネリストを3人選び、学級に伝える</p>
<p>○パネル・ディスカッション</p> <p>司会によるテーマ・流れの確認</p> <p>パネリストの意見発表・討論、フロアを入れた全体討論</p> <p>○【ワークシート②】にメモをとりながら聞き、全体討論で意見交換や質問をする</p>	7 本時	<p>○【発表シート】を黒板に掲示する</p> <p>○電子黒板の操作の補助</p> <p>○進行が滞った場合、司会にアドバイスをする</p> <p>○次時、まとめの感想を書くことを伝える</p>
<p>○自分の話し合いの仕方や課題について、振り返り、自己評価をする【ワークシート③】</p> <p>・話し合い活動、エネルギー問題について</p> <p>・【発表シート】や【調査シート】を参照可</p> <p>○まとめの感想を書く</p>	8	<p>○【振り返りシート】を配布する(裏面は原稿用紙)</p> <p>○数人を指名して、発表させる</p>

6 本時の指導 (7/8 時間目)

① 目標

- 社会生活の話題に関心を持ち、互いの考えを尊重しながら、自分の考えを深める。
【関心・意欲・態度】
- 根拠を示したり視覚資料を提示したりして、説得力のある提案をすることができる。【話すこと】
- 提案を聞いて自分の考えを深め、課題の解決に向けて意見交換や質問をすることができる。
【聞くこと】
- 相手に自分の考えが伝わるように、適切な語句を選択し、語彙を豊かにする。
【言語事項】

② 展開

過程・時配	学習内容と活動	教師の支援
導入 5分	○本時の学習目標と内容を確認する	<p>○本時の話し合いをもとに、次時は各自の感想をまとめることを伝える</p> <p>○進行の状況、各役割の仕事を確認する</p> <p>○【ワークシート②】を配布する</p>
10年後、安心して暮らすためには、どのような発電のしくみがよいか、パネル・ディスカッションを通して考えを深めよう		
展開	<p>○最初の考えを【ワークシート②】に記入する</p> <p>○パネル・ディスカッションを行う</p> <p>※ 参加者の発言のパターンは台本を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会者によるテーマの確認 ・各パネリストの意見発表 ・パネリスト同士の討論 ・全体討論 ・まとめ <p>○【ワークシート②】にパネリストの主張・根拠をメモしながら聞き、全体</p>	<p>○パネリストの基本主張を電子黒板と机の前に提示しておく</p> <p>○【発表シート】を黒板に掲示しておく</p> <p>○電子黒板の操作を補助する</p> <p>○発言の仕方がわからない場合、【ワークシート②】を参考にすることを伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネリストが反論できないとき ・フロアから意見が出ないとき ・司会者がフロアに発言を求めるとき <p>パネル・ディスカッションの前に…</p> <p>○司会、書記、時計係、パネリストと流れを確認する</p>

	討論で意見交換や質問をする	○パネリストに【ワークシート①】を示し、質問の予想、回答の準備をさせる
まとめ 5分	○参加者の取り組みについて、お互いに評価し、【ワークシート②】に記入する	○【調査シート】や【発表シート】を参照してもよいことを伝える ○【ワークシート②】を回収する ○次の時間にまとめの感想を書くことを伝える

③ 評価

- (1) 社会生活の話題に関心を持ち、調べたことと比較しながらパネリストの提案を聞いて、自分の考えを深めようとしている。 【関心・意欲・態度】
- (2) 根拠を示したり視覚資料を提示したりして、説得力のある提案をし、話し合いや質問の意図をとらえながら自分の考えを述べたりすることができる。 【話すこと】
- (3) 相手の考えを理解しながら聞き、課題の解決に向けて意見交換や質問をしている。 【聞くこと】
- (4) 相手に自分の考えが伝わるように、適切な語句を選択して表現を工夫している。 【言語事項】

参加者の配置

